

立命館経済學

第 36 卷 第 2 号

1987年6月

内 容

論 説

自由主義価値規範への2つの対応としての

- 「ポスト・モダン」と新自由主義 ……………大 西 広 1
 1880年代の階級構成 (2) ……………後 藤 靖 57
 三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
 社会政策および中間層政策の展開 (六) ……………川 本 和 良 78
 私的所有の発展とアジア的生産様式の崩壊過程……………杉 野 圀 明 96
 アジア的生産様式に関する理論的研究 (四)

研 究

- “構造転換” への西ドイツ労働組合の対応 ……………布 川 日佐史 119
 —DGB “雇用重視の先見的構造政策” 構想の
 検討を中心に

共同研究室…………… 152

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第35巻・第6号

論 説

輸出・輸入物価に対する為替変動の

寄与度・寄与率……………関 彌三郎

経済発展論（下）……………小 野 進

—A・ガーシェンクロンとA・マーシャル

そして日本の経済発展への適用とその限界—

外国為替について……………岩 田 勝 雄

紹 介

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(3)……………磯 部 智 也

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第36巻・第1号

論 説

貨幣・貨幣資本・現実資本の運動法則……………小 牧 聖 徳

—最近日本資本主義の動向—

1880年代の階級構成(1)……………後 藤 靖

地域経済をめぐる理論的諸問題……………杉 野 圀 明

Natural Resources Evaluation and the

Labour Theory of Value……………Stanislaw Sitnicki

研 究

資本の破壊と貨幣・信用恐慌……………竹 味 能 成

紹 介

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(4)……………磯 部 智 也

学位論文審査報告

発行所 立命館大学経済学会